



奨励賞

西興部村



ガイド付きハンティングの様子とエゾシカの解体実習の様子

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体
特定非営利活動法人 西興部村猟区管理協会
【西興部村】

害獣エゾシカを地域資源として活用！

はじめは？

北海道ではエゾシカが増え、農林業被害や交通事故が発生し、社会問題となっていました。個体数を減少させるためにシカが捕獲されてきましたが、十分な成果は得られていませんでした。こうしたなか、「害獣」としてのエゾシカを地域の「資源」として活用するため、西興部村全域に「猟区」の認可を受け、ガイド付きの狩猟によりエゾシカを地域の自然資源として積極的に管理しながら有効活用する試みを始めました。

おもな活動

入猟事業、狩猟者教育、環境教育、調査研究の4つの事業の実施を通じて、村の活性化を目指しています。入猟事業はシカの個体数を管理するため入猟者を1日2組に制限したうえで、地元狩猟者がガイドとして同行し、狩猟の場を提供しています。狩猟者教育は狩猟者やレンジャーの育成と狩猟のスキルアップのためのセミナーの開催等を行っています。環境教育は村の小学生に地域の自然を伝える「自然教室」を開催しています。調査研究はエゾシカの管理のため個体数調査を行い、捕獲個体分析、狩猟技術・文化調査を行っています。



自然教室の様子

ここが自慢

【エゾシカの命を大切に活用】

入猟事業に伴い人口1千人の村に年間延べ約500人が宿泊し、宿泊等による経済効果は年間約1,400万円になります。「私たちが獲り、私たちがなめし、私たちが創る」をコンセプトにこれまで廃棄処分していたシカ皮を活用した村内で完結する特産品の開発・製作に取り組んでいます。野生動物を「害獣」でなく地域の「自然資源」として活用するとともに、専門知識を持つ狩猟者を育成し野生動物管理の地域モデルの構築を進めています。



木製ドラムでシカ皮を洗浄する様子、なめした革を製品に加工

連絡先

代表者名：中原 慎一さん／設立：2004年／会員：33名

住所：西興部村字西興部485

電話番号：0158-87-2180（事務局長：伊吾田 順平さん）

F A X：0158-87-2180

E-mail：junp0913@gmail.com

URL：https://www.vill.nishiokoppe.lg.jp/Villager/Ryook